

令和3年度和歌山県
クリーニング師試験問題
(学 科)

令和3年11月11日

指示があるまで開いてはいけません。

【受験上の注意】

- 1 携帯電話の使用は禁止します。電源を切ってカバン等にしまってください。
- 2 机の上には、「受験票」・「筆記用具」・「時計」以外のものは置いてはいけません。
- 3 解答用紙には、受験番号及び氏名の記入を忘れないようにしてください。
- 4 試験開始後40分間は退出できません。40分を経過してから退出するときは、解答用紙を裏返してください。
- 5 一度退出してからは、原則として再入場は認めないので注意してください。
- 6 試験問題用紙は持ち帰っても構いません。
- 7 法令等においては、「洗濯」と「洗たく」が混在していますが、本試験においては「洗たく」に統一して記載しています。

衛生法規に関する知識

和歌山県

- 1 次のクリーニング業法の目的について、数字の箇所（①）～（⑤）に、下記の語群の中から適切な語句を選び、その記号ア～サを解答用紙に記入しなさい。

この法律は、クリーニング業に対して、（①）等の見地から必要な指導及び（②）を行い、もってその経営を（③）の福祉に適合させるとともに、（④）の利益の（⑤）を図ることを目的としている。

【語群】

ア 保健福祉 イ 公衆衛生 ウ 助言 エ 取締り オ 追及 カ 経営 キ 公共
ク 国民 ケ 営業者 コ 利用者 サ 擁護

- 2 次のクリーニング業法に定める洗場について、数字の箇所（①）～（⑤）に、下記の語群の中から適切な語句を選び、その記号ア～コを解答用紙に記入しなさい。

洗場については、床が（①）で築造され、これに適当な（②）と排水口が設けられていなければならない。

これは、洗たくに使用された水には、人体からの汗、脂肪等の（③）及びほこり等様々な汚物が含まれており、この汚染された水及び洗剤等を含んだ水がクリーニング所の洗場の床から（④）に浸透し、（④）汚染を生じたり、施設内に滞留することで（⑤）になったりすることのないように、構造基準を定めたものである。

【語群】

ア 耐熱性材料 イ 害虫の発生源 ウ 不浸透性材料 エ 飲食物 オ 分泌物
カ 大気 キ 土壌 ク 床の腐敗 ケ 勾配 コ 排気口

(次頁に続く)

3 次の記述のうち正しいものには○印を、間違っているものには×印を解答用紙に記入しなさい。

- ① () 営業者は、洗たく物の洗たくをするクリーニング所に、業務用の機械として、洗たく機及び脱水機をそれぞれ少なくとも2台備えなければならない。
- ② () 「クリーニング業」には、繊維製品を使用させるために貸与し、その使用済み後はこれを回収して洗たくし、さらにこれを貸与することを繰り返して行う営業は含まない。
- ③ () 営業者は、クリーニング師に洗たくを行わせる場合に限り、クリーニング所以外においても、営業として洗たく物の処理を行うことができる。
- ④ () 洗たく物の受取及び引渡しのみを行うクリーニング所を開設しようとする者は、あらかじめ都道府県知事に届け出る必要はない。
- ⑤ () クリーニング所における衛生管理要領には、営業者は、従業員が結核又は感染性の皮膚疾患にかかったときは、この旨を保健所に届け出れば、その従業員を作業に従事させてもよいと規定されている。
- ⑥ () 営業者は、洗たく物の受取及び引渡しをするに際しては、利用者に対し、苦情の申出先（クリーニング所の名称、所在地及び電話番号）を明示しなければならない。
- ⑦ () クリーニング師は、クリーニング所の業務に従事した後の1年以内に研修を受けた後、5年を超えない期間ごとに研修を受けなければならない。
- ⑧ () クリーニング所の洗たく業の用に供する洗浄施設は、水質汚濁防止法に基づく特定施設に該当する。
- ⑨ () 引火性溶剤を用いるドライクリーニングを営む工場は、建築基準法により商業系用途地域での立地が制限されている。
- ⑩ () クリーニング所を開設しないで、車両を用いて洗たく物の受取及び引渡しをすることを営業しようとする者は、クリーニング業法に基づく届出は必要ない。

公衆衛生に関する知識

和歌山県

1 ウィンスローの公衆衛生に関する定義の記述について、文中の(①)～(⑤)に当てはまる語句を下の語群ア～コの中から一つ選び、その記号を解答用紙に記入しなさい。

公衆衛生とは、環境衛生の改善、伝染病の予防、個人衛生の原則についての個人の(①)、疾病の早期診断と治療のための医療と看護サービスの組織化、および地域社会のすべての人に、健康保持のための適切な(②)を保障する社会制度の発展のために、共同社会の組織的な努力を通じて、疾病を(③)し、寿命を(④)し、(⑤)、精神的健康の能率の増進をはかる科学であり、技術である。

【語群】

- ア 教育 イ 予防 ウ 生命 エ 社会的 オ 生活水準 カ 治療
- キ 増進 ク 延長 ケ 健康 コ 肉体的

2 次の文章は、「クリーニング所における衛生管理要領」に記載されている指定洗たく物の一般的な消毒方法に関する記述です。文中の(①)～(⑤)に当てはまる数値を下の語群ア～ウの中からそれぞれ一つ選び、その記号を解答用紙に記入しなさい。

- ・蒸気による消毒は、蒸気がま等を使用し、(①)℃以上の湿熱に(②)分間以上触れさせること。
- ・熱湯による消毒は、(③)℃以上の熱湯に10分間以上浸すこと。
- ・界面活性剤による消毒は、逆性石ケン液、両性界面活性剤等の殺菌効果のある界面活性剤を使用し、その適正希釈水溶液中に(④)℃以上で(⑤)分間以上浸すこと。

【語群】

- | | | | | | | |
|---|---|----|---|-----|---|-----|
| ① | ア | 80 | イ | 100 | ウ | 120 |
| ② | ア | 5 | イ | 10 | ウ | 15 |
| ③ | ア | 80 | イ | 100 | ウ | 120 |
| ④ | ア | 10 | イ | 20 | ウ | 30 |
| ⑤ | ア | 10 | イ | 20 | ウ | 30 |

(次頁に続く)

3 次の記述のうち正しいものには○印を、間違っているものには×印を解答用紙に記入しなさい。

- ① () 保健所が行う業務には、栄養の改善及び食品衛生に関する事項や、児童福祉に関する事項、労働安全衛生に関する事項がある。
- ② () 感染症に感染していても、症状がない人は、病原体の増殖が抑えられているため、感染が広がる可能性はない。
- ③ () 令和元年の厚生労働省による人口動態統計では、全国の死因順位の第1位は悪性新生物、第2位は心疾患、第3位は老衰となっている。
- ④ () インフルエンザワクチンの接種は、感染後に発症する可能性を減らす効果と、発症した場合の重症化防止に有効であるといわれている。
- ⑤ () ノロウイルスが含まれる吐物が付着した洗たく物の処理には、次亜塩素酸ナトリウムの消毒が有効である。
- ⑥ () 経口感染に対しては、手洗いの励行、食品の衛生的取り扱い、タオルや食器などの共用を避けることが有効である。
- ⑦ () おしぼりの衛生的処理等に関する指導基準では、貸与したおしぼりは少なくとも7日以内に回収して処理することとされている。
- ⑧ () 消毒とは、病原体を死滅させ、あるいは感染量に達しない程度まで大幅に減少させることである。
- ⑨ () 太陽光のうち紫外線は、波長が800nm より長いものをいい、熱作用が著しい。
- ⑩ () 疾病の予防対策には、健康を増進し疾病を予防する一次予防と、リハビリテーション等による社会復帰を目的とした二次予防がある。

洗たく物の処理に関する知識

和歌山県

1 次の表は、主な繊維の種類とクリーニング性について記載したものです。表中の①～⑤に当てはまる適当なものを下の語群から一つ選び、その記号を解答用紙に記入しなさい。ただし、同じ記号を複数回使用してもよい。

主な繊維の種類			クリーニング性		
			ドライ	ウエット	ランドリー
天然繊維	植物繊維	綿・麻	○	③	○
	動物繊維	絹	○	△	×
		毛	○	△	×
化学繊維	再生繊維	レーヨン	○	△	×
	①	アセテート	○	△	×
	合成繊維	ナイロン	○	○	④
		ポリエステル	○	○	⑤
	②		○	○	×

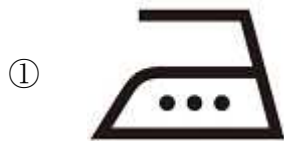
※「○」は処理できる、「△」は処理に注意を要する、「×」は処理できないことを示す。

<語群>

ア 半再生繊維 イ 半合成繊維 ウ アクリル エ ガラス繊維
オ △ カ ○ キ ×

(次頁に続く)

2 次の①～⑤は、日本産業規格 JIS L 0001 (繊維製品の取扱いに関する表示記号及びその表示方法)による洗たく表示です。それぞれの記号についての意味で正しいものを各選択肢ア～ウの中から1つ選び、その記号を解答用紙に記入しなさい。



- ア 底面温度110℃を限度としてスチームなしでアイロン仕上げ処理ができる。
- イ 底面温度150℃を限度としてアイロン仕上げ処理ができる。
- ウ 底面温度200℃を限度としてアイロン仕上げ処理ができる。



- ア 洗たく処理後のタンブル乾燥処理ができる。高温乾燥：排気温度の上限は最高100℃
- イ 洗たく処理後のタンブル乾燥処理ができる。高温乾燥：排気温度の上限は最高80℃
- ウ 洗たく処理後のタンブル乾燥処理ができる。低温乾燥：排気温度の上限は最高60℃



- ア 日陰でのつり干し乾燥がよい。
- イ 日陰でのぬれつり干し乾燥がよい。
- ウ 日陰での平干し乾燥がよい。



- ア 酸素系および塩素系漂白剤による漂白処理ができる。
- イ 酸素系漂白剤による漂白処理ができるが、塩素系漂白剤による漂白処理はできない。
- ウ 漂白処理はできない。



- ア 液温は、40℃を限度とし、洗たく機で通常の洗たく処理ができる。
- イ 液温は、40℃を限度とし、洗たく機で弱い洗たく処理ができる。
- ウ 液温は、40℃を限度とし、手洗いによる洗たく処理ができる。

(次頁に続く)

3 次の記述のうち正しいものには○印を、間違っているものには×印を解答用紙に記入しなさい。

- ① () 羊毛の繊維の側面の状態は、全体に渡ってうろこ状のものが重なってみられる。
- ② () フロック加工は接着強度が強いので、ドライクリーニングではテトラクロロエチレンを用いる。
- ③ () ナイロンの欠点は、日光やガスなどによる黄変である。
- ④ () 水溶性シミ抜き剤には、アルカリ性のものと酸性のものがあり、タンパク系のシミにはアルカリ性のシミ抜き剤、タンニン系のシミには酸性のシミ抜き剤を使用する。
- ⑤ () ランドリー工程における予洗では、汚れなどを膨張させるために次亜塩素酸ナトリウムを用いる。
- ⑥ () 平織、綾織、朱子織を織物の三原組織という。
- ⑦ () クリーニング仕上げの3条件とは、湿気、熱、圧力である。
- ⑧ () 界面活性剤は、界面張力を低下させ、生地の水をしみ込みやすくする働きをもっている。
- ⑨ () ランドリー用漂白剤として使用される過炭酸ナトリウムは、低温で漂白効果があり、高温では生地を損傷しやすい。
- ⑩ () カーペットのクリーニングには、水洗い、シャンプー洗いなどがある。